

Save History & Alert 検索式の保存とユーザー登録

1 サインイン(ユーザー登録)

Web of Knowledgeにメールアドレスとパスワードを登録することにより、便利なオプションを活用することができます。オプションでは次の内容を設定できます。

- 検索式の保存と検索アラートの設定(設定数に制限なし)
- 引用アラート(設定数に制限なし)

2 検索式の履歴表示と保存

[検索履歴]をクリックすると、過去に実行した検索式の一覧を見ることができ、それらを組み合わせて新たな検索結果を作成することができます。

履歴の保存 / アラートの作成 をクリックすると、40式まで保存ができます。履歴名を入力し、

- A : クリックすると、アラートの作成や履歴の保存ができます。
- B : クリックすると、式がパソコンに保存されます。(history.wosのようなファイルでダウンロードされ、他のWoSユーザーにメール等で共有することができます。)

保存した式は [保存した履歴を開く] をクリックすると開きます。

3 My検索履歴

My引用アラートをクリックするとアラートの管理や更新ができます。

4 EndNote® Web

ユーザー登録をすると、EndNote Webが使えるようになります。ご契約により設定が異なります。

詳細は、[EndNote Web サポート] [検索] をクリック

論文間の引用関係のマップ

詳細表示画面の[引用マップ]をクリックすると、マップ設定画面に切り替わります。※(2ページ 15)を参照

1 [フォワードのみ]は、将来の引用関係、[バックワードのみ]は、過去の引用関係です。

2 何世代までマップを作成するかを設定します。[1世代]は直接引用関係がある論文、[2世代]は[1世代]の論文をさらに引用している論文も含みます。

3 最後に[マップの作成]をクリックして実行します。

4 画面が切り替わり、論文とマップの説明画面が表示されます。

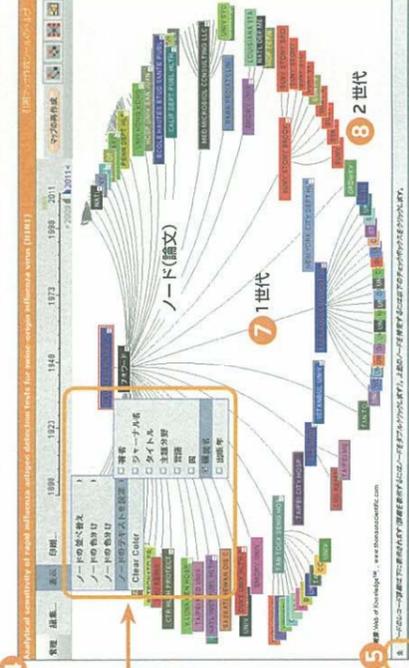
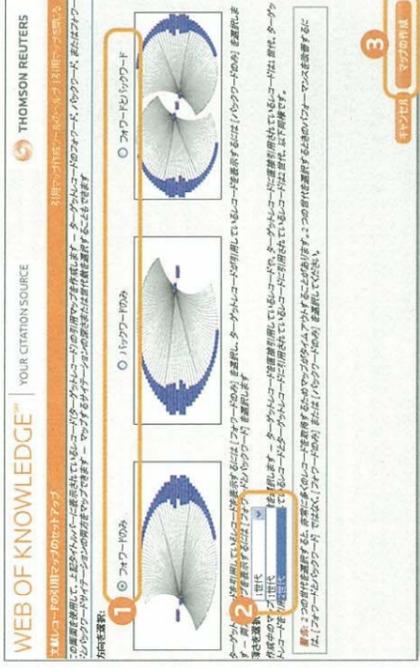
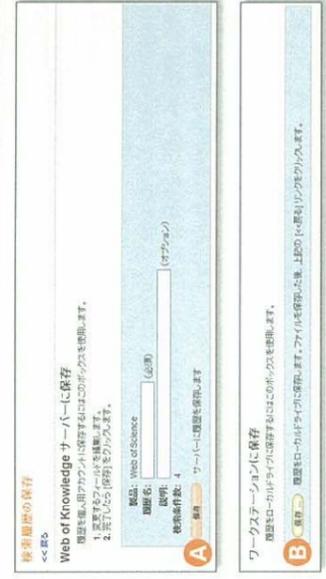
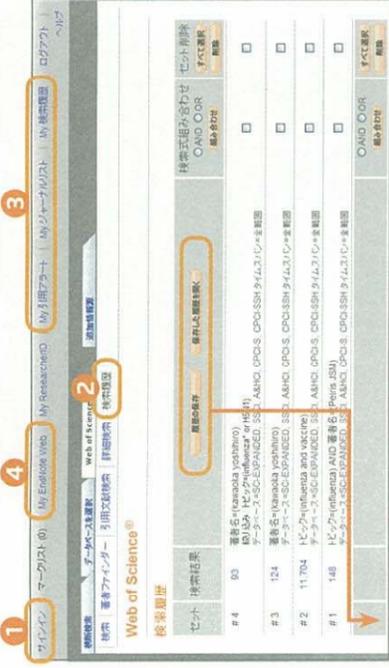
5 [検索] をクリックするとマップの全画面表示。

6 マップの初期設定では、各ノード(論文)は、第一著者名、色は黒で表示されます。[表示]では、見やすいように、ノードの色分けなどの表示を変更できます。[ノードの並び替え]は、各ノードの並び順です。著者にすると時計回りにABC順、出版年にする時計回りに新しくなります。

7 画面上部のノードに直接つながっているのは、直接引用関係がある1世代目の論文です。

8 2世代目の論文は、1世代目と引用関係があります。

※この機能はJavaのインストールが必要です。



Web of Science を使うと、自然科学、社会科学そして人文学の広範な学問分野の12,000 誌以上の国際誌を検索して、関心のある分野に最も関係のある論文を探し出せます。引用文献を利用すれば、関連レコードを互いにリンクし、各分野の第一線の研究者が執筆した論文間の関係を辿ることができます。

http://webofknowledge.com/wos からアクセス。

サポートは、[WoS サポート] [検索] 講習会のビデオは、[インターネット講習会] [検索]

検索語の入力方法

- 1 検索項目 [トピック] [タイトル] [著者名] [ResearcherID] [グループ著者名] [編集者] [出版物名] [DOI] [出版年] [著者所属] [会議] [言語] [ドキュメントタイプ] [助成金提供機関] [助成金登録番号] で検索できます。
- 2 ドロップダウンメニュー: フィールド間の関係付けを行って下さい。

演算子の使い方は AND, OR, NOT, NEAR を利用すると複数の語を組み合わせて検索できます。語と語の間のスペースはANDと同じ扱いになります。

ワイルドカード: 語尾の異なる語も検索するには、アスタリスク(*)を利用します。例) Cell* と入力。

前方にアスタリスクを利用すると、語尾が同じ語を検索します。例) *phosphateは, diphosphate, triphosphate, phosphateを検索。

カッコ検索(又は): influenza又はH5N1をVaccineと組み合わせる検索などは、カッコを使います。例) (Influenza OR H5N1) AND Vaccine

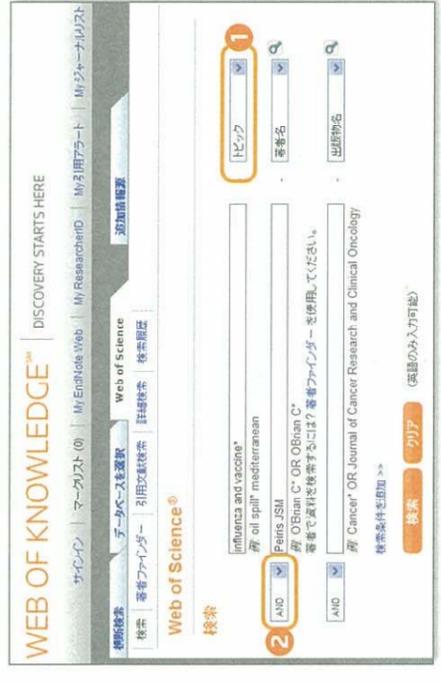
フレーズ検索: 入力した語順でフレーズを検索する際は、ダブルクォーテーションで囲みます。例) "stem cell" と入力。

NEAR/n演算子: n語以内に、それぞれの単語があるレコードを検索します。何も指定しないと15語以内を検索します。例) salmon NEAR/10 virus

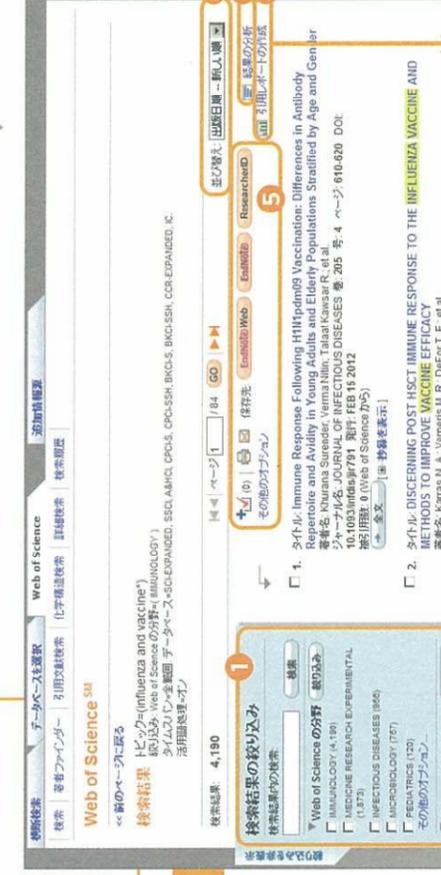
[新機能]新バージョンよりトピックとタイトル検索では、複数形・単数形・米英式・英国式スペルのバリエーションを自動的に検索します。この機能を無効にするには、用語を引用符で囲みます(たとえば、"colour")。

検索結果の絞り込みと分析

- 1 検索結果の絞り込み 検索結果から、[WoSの分野] [ドキュメントタイプ] [主題分野] [著者名] [グループ著者名] [編集者] [ジャーナル名] [会議名] [出版年] [著者所属] [助成金提供機関] [言語] [国/地域] ごと上位5項目を表示します。 [ク] をクリックすると項目表示。その他のオブジェクション... をクリックすると100項目まで表示し、 [絞り込み] を除外... することができます。
- 2 並び替え 下記の項目で、検索結果を並び替えることができます。
 - 出版日順(新しい順 / 古い順) ・ 処理日順(新しい順 / 古い順) ・ 被引用数順(多い順 / 少ない順) ・ 関連度 ・ 第一著者名 ・ 出版物名 ・ 会議名
- 3 結果の分析 検索結果を、分析できます。[並び替え]機能と併せて、被引用数の高い上位のレコードを著者所属で分析したり、絞り込むことが可能です。分析結果をMicrosoft® Excelに出力できます。
- 4 引用レポートの作成 1万件までの検索結果に対して論文数、と引用回数(新しい順)の年別別推移。[引用記事全てを表示]をクリックすると、検索で得られた論文群(例えばある著者の論文)を、引用している論文群が表示されます。
- 5 レコードのマーク、出力、及びEndNote® Webでの保存



[著者名]で検索する場合は通常、苗字と名前のイニシャル(例:tanaka)を入力します。ただし、2007年以降のレコードはフルネームで検索することができます。特定の著者を検索する場合、著者名と併せて、[著者住所]に所属機関名を入力して検索することでより精度の高い結果が得られます。なお、2007年より古いレコードは、著者の名前、所属機関名とも省形での検索が必要です。例: Kyoto Universityは、Kyoto Univ), 医学部を指定する場合は、kyoto Univ SAME Med と入力します。



Full Record フルレコード

1 論文タイトル

2 著者名

3 ジャーナル名

4 抄録

5 著者によるキーワード・KeyWords Plus®

Web of Scienceが独自に付与したキーワード。引用文献に頻出する語句から成っています。

6 著者所属

著者の所属機関名とその住所が全て入力されており検索可能です。リプリント請求先の著者名も記載されています。

7 助成金情報

論文中のアクノレッジメントに記載の助成金提供機関、助成金登録番号が表示されます。閲覧中の文献がどこからサポートを受けているかが分かります。(2007年以降のレコード)

8 全文リンク

ボタンは、機関ごとで別途、論文のフルテキストが掲載されている出版社のサイトにリンクしています。なお、全文の入手先を案内するアイコンが表示されている場合があります。

9 ジャーナルのインパクトファクター (Journal Citation Reports)

※ご契約により設定が異なります。別途契約要

10 ResearcherID

著者名を正確に特定できる索引を完備したグローバルな研究コミュニティです。個々の著者に一意の識別番号を割り当て、研究者と出版リストを関連付けます。詳細は、[ResearcherID サポート] を検索

引用文献リンク

引用文献が収録されています。青文字で表示された引用文献はWeb of Science®の別のレコードにリンクしています。

リンクのないもの(黒文字や、特許など)は次のいずれかに該当します。

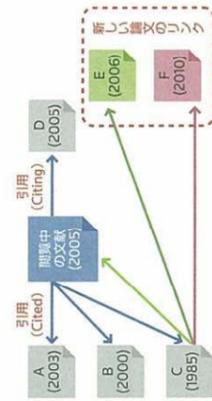
- 単行本など、Web of Science®に収録されていない文献
- お客様の購読契約に含まれていない文献
- 情報源となった出版物で引用に限りがある
- 引用文献を検索するには(引用文献検索)を使います。

引用文献を使った、新しい論文にリンク

今見ている論文レコードの[引用文献]右横の数字をクリック

引用文献の中の、現在も沢山引用されている論文の[被引用数]の右横の数字をクリック

この手順で、閲覧中の閲覧中の文献や被引用文献Dより、新しい文献Eと文献Fを見つけてくることが出来ます。



引用文献を使った検索

Web of Scienceの収録に関わらず、ジャーナル、本、会議録、特許公報などなどの論文に引用されたか、また、何回引用されたかが検索可能です。例えば、日本のジャーナルが、どのジャーナルに引用されているかを知りたい場合や、キーワードでは検索しにくい概念を検索したい場合に便利です。例えば「甘え」の構造(土居健朗)を検索すれば、「甘え」という心

理に関する文献を検索できます。

ステップ1

検索項目を入力し、最後に検索をクリック。

著者名: 苗字 + 名前前のイニシャル。

出版物名: ジャーナル名の場合は、フルタイトルもしくは省略形で入力。語尾に* をつけます。

本の場合は、AやTheを省略してタイトルの最初の3~4文字程度を入力して語尾に* を付けます。(本はいろいろな形式で引用されています。右の図参照)

"Information, Incentives and Bargaining in the Japanese Economy" by Masahiko Aoki; Cambridge University Press; 1988

の場合、著者名にAoki、出版物名にinfo* で検索します。

出版年: 複数年の指定や空欄も可能。

巻: 書籍のボリュームでも検索可能。

ステップ2

ステップ2: 3つの検索条件を適用し、適用した検索結果をコントロールします。

引用文献の絞り込み: レコードの絞り込み(1)と絞り込み(2)を併用して絞り込みをコントロールします。

ステップ3

ステップ3: 絞り込み条件を適用し、絞り込み後の検索結果をコントロールします。

ステップ4

ステップ4: 絞り込み条件を適用し、絞り込み後の検索結果をコントロールします。

ステップ5

ステップ5: 絞り込み条件を適用し、絞り込み後の検索結果をコントロールします。

引用文献リンク

11 被引用数

右横の数字(被引用数)をクリックするとWeb of Knowledge 全体の被引用数の内訳と、論文が表示されます。フルレコード右側のこの論文を引用した直近の3件の論文の書誌情報自動的に表示されます。

12 引用アラート

この論文がWeb of Scienceの新しいレコードに引用された際に通知を受けられます。

13 関連レコード

この論文が引用した文献と同じ論文を引用した別の論文を表示します。

14 引用文献

詳細は、検索のヒント 関連度の高い論文

15 引用マップ

右横の数字(引用文献数)をクリックするとこの論文の引用文献が表示されます。論文間の引用関係をマップとして俯瞰できます。詳しくは4ページを参照。

16 追加情報

ジャーナルの目次 (Current Contents Connected) を表示

ジャーナルのインパクトファクター (Journal Citation Reports®) を表示

関連するWeb of Knowledgeのレコードを検索

引用文献の絞り込み

Web of Science®

1 引用文献検索

ステップ1: 引用文献に記載されている著者名、刊行物名(等)、出版年を入力します。* 巻、ページと組み合わせて入力することもできます。

著者名: Anand K*
刊行物名: Optica
出版年: 1988

検索条件を拡張

Web of Science®

1 引用文献検索

ステップ1: 引用文献に記載されている著者名、刊行物名(等)、出版年を入力します。* 巻、ページと組み合わせて入力することもできます。

著者名: Anand K*
刊行物名: Optica
出版年: 1988

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

引用文献の例

References

1. P. Boone and R. Verbiest, "Application of hologram interferometry to plate deformation and translation measurements," *Opt. Acta* 16, 555-567 (1969).

2. S. Nakadae, T. Yangai, and H. Saito, "Digital speckle-pattern shearing interferometry," *Appl. Opt.* 19, 4241-4246 (1980).

3. E. Vihagen, "Nondestructive testing by use of TV holography and deformation phase gradient calculation," *Appl. Opt.* 29, 137-144 (1990).

4. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

5. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

6. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

7. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

8. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

9. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

10. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

11. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

12. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

13. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

14. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

15. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

16. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

17. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

18. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

19. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

20. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

21. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

22. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

23. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

24. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

25. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

26. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

27. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

28. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

29. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

30. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

31. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

32. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

33. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

34. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

35. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

36. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

37. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

38. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

39. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

40. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

Web of Science®

1 引用文献検索

ステップ1: 引用文献に記載されている著者名、刊行物名(等)、出版年を入力します。* 巻、ページと組み合わせて入力することもできます。

著者名: Anand K*
刊行物名: Optica
出版年: 1988

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

検索条件を拡張

引用文献の例

References

1. P. Boone and R. Verbiest, "Application of hologram interferometry to plate deformation and translation measurements," *Opt. Acta* 16, 555-567 (1969).

2. S. Nakadae, T. Yangai, and H. Saito, "Digital speckle-pattern shearing interferometry," *Appl. Opt.* 19, 4241-4246 (1980).

3. E. Vihagen, "Nondestructive testing by use of TV holography and deformation phase gradient calculation," *Appl. Opt.* 29, 137-144 (1990).

4. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

5. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

6. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

7. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

8. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I. R., & Higgenfeld, R. (2003). *Science* 300, 1763-1767.

9. Anand, K., Ziebur, J., Wadhvani, P., Masters, I